

震度階級

震度とは、地震の強さの程度を示すものです。地震の揺れにより、どのような現象の被害が発生するか一般的に例示しています。

震度 4

ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。



屋内の状況：電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。

屋外の状況：電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。

震度 5弱

大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。



屋内の状況：電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類や書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

屋外の状況：まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。

木造建物：壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。

震度 5強

大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。



屋内の状況：棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。

屋外の状況：窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。

木造建物：壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。

震度 6弱

立っていることが困難になる。



屋内の状況：固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。

屋外の状況：壁のタイルや窓ガラスが破損・落下することがある。

木造建物：耐震性の低い住宅では、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。耐震性の高い住宅でも、壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。

震度 6強

立っていることができず、はわないと動くことができない。



屋内の状況：固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。

屋外の状況：壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。

木造建物：耐震性の低い住宅では、壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが増える。傾くものや、倒れるものが増える。耐震性の高い住宅でも、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。

震度 7

揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。



屋内の状況：固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばされることもある。

屋外の状況：ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。

木造建物：耐震性の低い住宅では、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。耐震性の高い住宅でも、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。

気象庁震度階級解説表を参考

地震発生時の心得

地震のとき、まず自身の安全確保が第一です。いる場所によって対応が異なりますが、身の回りの物で頭や身体を守り、パニックにならず冷静に行動できるよう日ごろから心がけてください。

1. グラツときたら身の安全



- ・わが身と家族の身の安全を優先しましょう。
- ・丈夫なテーブルや机の下に身をかくし、頭を保護するようにしましょう。

2. 落ち着いて火の始末をする



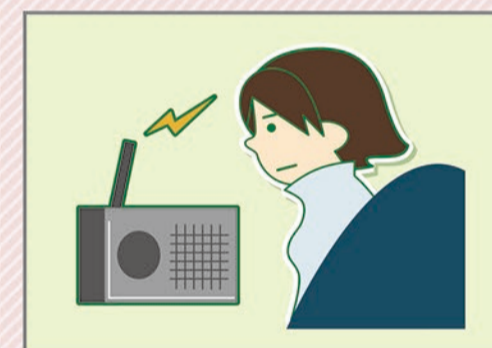
- ・火が出たら慌てずに、消火をしましょう。
- ・小さな地震でも火を消す習慣をつけましょう。
- ・大きな地震の場合は、まず身の安全を守ることを優先しましょう。

3. 戸を開けて出口の確保をする



- ・特に、コンクリート建てマンションなどは、地震の揺れでドアがゆがみ、部屋に閉じ込められることがあります。戸を開けて出口を確保しましょう。

4. 正しい情報で行動する



- ・災害時はデマなどに惑わされやすくなります。正しい情報に従って行動しましょう。
- ・報道機関や公的機関からの情報に注意しましょう。

5. みんなで協力しあって応急救護



- ・けが人が出たときはお互いに協力し合って応急救護をしましょう。

CHECK



ブレーカーを落とす

漏電による火災のおそれがあるので、避難する際は必ずブレーカーを落としましょう。

連絡メモを忘れずに!

避難時など自宅を離れる場合、玄関など見やすい場所に避難先や安否情報を書いたメモを貼りましょう。

